




令和 5 年度 施策評価表

施策	0302	芸術・文化の振興	施策担当部	教育委員会	部長	川下隆治
			施策担当課	文化振興課	課長	大野安生
施策の方針	芸術・文化に接する機会を提供するとともに、情報発信に努める。また、関係団体の育成・支援や小・中学生の文化活動を支援する。					
関連するSDGsのゴール	  					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 芸術・文化事業への参加者数	人/年	13,066	13,000 7,831	13,000 13,830	13,500	13,700	13,700	106.4%	100.9%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新型コロナウイルス感染拡大による影響は残るものの、文化協会組織団体が行う事業への参加に加え、大村市文化・スポーツ振興財団自主事業への参加者が前年度に比べ大幅に増加（R4:6,250人→R5:11,422人）したことにより、令和4年度実績値は増加し、目標値をわずかに上回った。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	32,517	87,559	186,774	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	10,778	10,664	12,112	
	一般財源	21,739	76,895	174,662	
	人件費	9,069	9,283	—	
フルコスト	41,586	96,842	—		

施策の概要（細施策）

030201	芸術・文化に接する機会の提供	市民が優れた芸術・文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術・文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。
030202	芸術・文化団体の育成・支援	市民の主体的な芸術・文化活動の支援と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を促進します。 また、将来を担う子どもたちの芸術文化活動の活性化を図るため、小・中学生の文化活動を支援します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

令和4年度は、コロナ禍の影響は残るものの、芸術・文化活動が活発化し、コロナ禍前の状況に戻りつつある。
 しかし、これまでの活動の縮小により、関係団体の構成人数は減少しており、団体の活動、さらには存続にも影響を及ぼすおそれがある。
 本市の芸術・文化を振興するためには、活動経費面での支援の重要性はより高まっていると考えられる。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

市民の芸術・文化活動を下支えするため、これまで同様に活動経費の負担を軽減するための補助を市がしっかりと行う必要がある。
 また、芸術・文化活動の拠点でもある体育文化センターは、開設して25年が経過し施設設備が老朽化しており、利用者の安心・安全のため施設の修繕及び設備の更新を進める必要がある。

令和6年度新規事業

	事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
			事業費(千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	